

「熊本らしさ」を発信する2大拠点に



街・人とタッグを組み、さまざまな企画展やイベントを開催してきた『くまもと工芸会館』と『現代美術館』。両施設の活動に込めた思い、魅力や楽しみ方をご紹介します。令和3年は熊本ならではの文化に触れ、心豊かに過ごしてみませんか？

「点」で広がる川尻の魅力を結び、「面」の魅力発信につなげるのが役目

南区川尻

【くまもと工芸会館】



南区川尻1-3-58
TEL 096-358-5711
開館時間／午前9時～午後9時
(工芸の実演・体験：午前10時～午後4時、
売店：午後5時まで)
休館日／月曜(休日の場合は翌平日)、年末年始
入館料／無料



バス路線番号R：川尻・宇土・松橋方面
「工芸会館前」下車

伝統工芸は一度途絶えたら復活させるのは至難の業。「だからこそ新しい風を吹き込み、今の生活様式に合わせて発展させるお手伝いが必要」と語る『くまもと工芸会館』副館長の塩貝 直子さん。特に一般社団法人くまもと工芸協会員68人が日替わりで行う実演に力を入れていて、いつでも気軽に体験ができるので注目です。

また、古くは年貢米の集積地として栄え、職人の街として知られる川尻ならではの魅力を活かしたイベント『かわしり春ものがたり』でも中心的役割を担います。「12の団体と協力し、地域に点在する魅力を面につなぎ合わせるジョイント役が私たち。特に今回は熊本地震で被災した瑞鷹(株)川尻本蔵が復興し、新酒の蔵出しとともに披露目されるのでご期待ください」。昨年は人口約8千人の町に延べ1万人が訪れるほどにぎわったそうで、楽しみながら伝統文化に触れることができます。



くまもと工芸会館 副館長
しおが い なお こ
塩貝 直子



上／瑞鷹の新酒蔵出しは、熊本のうまかもんもそろう「食の祭典」です。
右／約550年前に始まった川尻刃物。伝統は継承されていきます。



伝統

体験プログラムや教室などお楽しみ満載!

「工芸品の継承と発展をもって地域振興を行う」ことをテーマに掲げ、さまざまな取り組みを行っています。

工芸体験を 毎日開催!

職人による実演を日替わりで実施し、自由に見学できます。また、肥後象がんや竹工芸、木工、ガラス工芸、革工芸などの製作体験ができます。(午前の部・午後の部。※要予約)

多彩な 年間工芸教室も

肥後象がんや陶芸、竹工芸、木工、七宝などさまざまな教室があり、いずれも月2回程度、1年間のコースです。「自分で作った工芸品で暮らしを彩りたい」という方に人気。

後継者育成 事業にも注力

肥後こまや熊本友禅、川尻刃物など、後継者育成を行わないと途絶えてしまう工芸品が対象。後継者不足に悩む職人が伝統技術を学びたい若手を受け入れ、2年間みっちり育成します。



「肥後こま」竹原 栄太郎 作



「肥後象がん」河口 知明 作

「川尻包丁」琉子 雅紹 作

2021 かわしり春ものがたり

川尻の街並みを散策しながら、国指定史跡群(船着き場跡など)を案内人と見学したり、川尻に店を構える6人の和菓子職人「開懐世利六菓匠(かわせりろっかしょう)」による実演・販売など、この地に伝わり育まれてきた伝統文化を体感できるイベントがいっぱい!



<イベント一例>

和菓子づくりの実演・販売

2月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)
午前10時～午後4時
会場／くまもと工芸会館3階

2021 川尻お寺deフェスタ5

2月7日(日)午前10時～午後5時
川尻のお寺や神社が協力し、各種イベントを実施

かわしりの新酒蔵出し

3月14日(日)午前11時～午後2時半
しばらく新酒の限定販売
会場／瑞鷹(株)川尻本蔵

イベント情報
など詳しくは
HPをチェック



市公式LINEに
新項目「文化芸術」が
追加されました!

現代美術館やくまもと工芸会館の情報だけでなく、文化芸術に関するさまざまな情報を随時配信します! 皆さんぜひ登録してください。



くまもと工芸会館 イベント情報